

神戸中通信



〒513-0038 鈴鹿市十宮町 1335 TEL 059-382-0305

八重垣神社西方から西方を望む

今回の「神戸中通信」は、「多様な性の学びから人権を考える」
「思考を働かす学習活動」「作品展・ポスターコンクールでの入賞」
についてお伝えします。

【神戸中 HP「QR コード」】



“多様な性”の学びから人権を考える！

各学年では、年間を通じて様々な視点から人権学習が行われています。

2年生では、9月12日（月）に昨年度もお越しいただいた愛知県公立中学校に勤務する浦田幸奈先生を講師にお招きし、性的マイノリティとの共生についての学習を行いました。

浦田先生からは、自身がトランスジェンダーであることの葛藤や、家族や勤務する学校の生徒に告白し、生活してきた実体験を通じて、多様な性についての理解を深め、自分らしく生きることが認め合い、支えあうことができる社会の実現が必要なことが呼び掛けられました。

そのために、「上から手を差し伸べる支援ではなく、下から支えるサポートでもなく、横に立ち、寄り添う」といった考え方に立つことの大切さなどが伝えられました。

* “トランスジェンダー”とは、生まれたときに割り当てられた性別に違和感を持ち、異なる性別で生きていきたいと考えている人のことを言います。



21世紀は“人権の世紀”と言われています。これは、20世紀の2度にわたる世界大戦や様々な差別解消への闘いの歴史を経験し、21世紀こそは争いや差別のない、誰もが幸せに生きる権利を保障される時代にしていこうとする願いが込められています。

しかし、私たちの身の回りに目を向けると、依然として“いじめ”の問題が存在しています。また、障がい者差別、外国人差別、女性差別、高齢者差別、部落差別、HIV感染者やハンセン病患者への差別など、様々な差別や偏見で苦しんでいる人がいます。

私たちは、差別や偏見をなくすため、正しい知識を身に付けることが大切です。

“思考を働かす”学習活動！

神戸中通信第 28 号（令和 4 年 9 月 13 日発行）では、「“学び”の秋に思考を深める」と題した話題を掲載し、その中で、「何を学ぶのかを明確にする“めあて”を示す”ことを大切にしたい授業を心がけていることをお伝えしました。

各授業では、右に示したような“めあて”を示すことを心がけていますが、これはその授業で“何を考えるのか”をできる限り明確にしようとしているものです。

家庭学習でも、ただ単に“知識を覚える”だけでなく、“内容や資料を通して考え、自分なりの意見まとめ、表現する”といった力を身に付ける取組が大切になっています。

めあて 酸・アルカリを混ぜるとどうなるのか考える

Q. 酸性・アルカリ性を混ぜると？

めあて アフリカ州の歴史を国境から考えよう！！

めあて 一次関数の式を求める方法を説明しよう。
例題 16+

めあて 金属と反応する酸素の質量の関係は？

“作品展・ポスターコンクール”での入賞！

◇ 鈴鹿市児童生徒科学作品展（出品作品）

- | | |
|----------|----------------------|
| 酒本望緒（1年） | 「風車の羽根の研究」 |
| 市岡怜磨（1年） | 「チリメンモンスターを探してみたら」 |
| 杉野心咲（1年） | 「カビが生えやすい条件の研究」 |
| 味方朝希（2年） | 「葉が水をはじく力」 |
| 竹内理紗（2年） | 「色の温度の研究」 |
| 玉野結斗（2年） | 「ガムを溶かす研究」 |
| 矢田侑雅（3年） | 「日焼けとそれを防ぐものについての研究」 |
| 南 春妃（3年） | 「伯母さんの茄子がおいしい理由」 |

◇ 交通安全図画ポスター（中学校の部）

- 鈴鹿地区交通安全協会会長賞：堀内美優（1年）
入選：大谷麗空（3年）

佳作：富田想央（3年）、廣田琢磨（3年）、山田蒼來（2年）

*9/22（木）から9/30（金）までの間、鈴鹿ハンター（3階）市民ギャラリーで展示されます。ただし、9/30（金）は13時までの展示となります。